

2011年07月13日

第6回研修会 及び 第4回現地見学会 開催報告

KSCD 事務局

第6回研修会の開催

京滋コンクリート診断士会では、第6回研修会を以下のとおり開催しました。当日は60名近いご出席を頂き、盛況裏に終了できました。ご出席頂きました皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。

1. 日 時 : 平成23年7月2日(土)午後1時30分～4時45分
2. 会 場 : メルパルク京都 研修室5
3. 第6回研修会 : ●河野 広隆 先生 (京都大学大学院 教授 本会顧問)
「ひび割れとどう付き合うか」
●南 宏一 先生 (福山大学 工学部 名誉教授)
「日本における合成構造の構造設計基準の歴史的発展」
「既存低強度コンクリート建物の耐震補強を考える」

第4回現地見学会の開催

今年度の主要行事の一環として、去る5月31日に滋賀県土木部様のご厚意により滋賀県内の橋梁とC-BOXにおいて診断調査訓練を実施しました。受講者は本会会員24名で、講師には本会顧問の河野先生(京都大学大学院教授)をお招きしました。当日は滋賀県職員の方々も同行され、先生の解説を熱心に聞かれていました。ご参加頂きました皆さま1日お疲れ様でした。

我々診断士も実地訓練を重ねることが重要であり、9月中旬に第5回研修会(京都府内)を企画中です。奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

研修会、見学会の様相



▲河野 広隆先生の講演



▲南 宏一先生の講演



▲現地見学会の様子

- 今回の講演は初の土曜日開催となりましたが、会場は満員御礼でした。
- 講演は、維持管理技術者が直面するひび割れ診断の問題や、地震国日本における構造基準の変遷や耐震補強などタイムリー且つ興味深い内容でした。
- 例年より梅雨入りが早く、前日まで雨模様でしたが、見学会当日は曇りとなり、自称晴れ男こと長谷川会長のお陰と感謝しています。

